

NBU LIBRARY NEWS

読書週間

10月27～11月9日

今年も10/27から読書週間ははじまります。

今年のテーマは『私のペースでしおりは進む』

秋の夜長にゆったり読書するのも、スキルアップのためにガツガツ読書するのも自分次第！図書館を活用して、自分なりのペースで読書を楽しんでください。

開館カレンダー

- 10月 -						
月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 11月 -						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

休館
8:30～17:00
8:30～18:00
8:30～20:00
一木祭

閉館時間はHPより最新情報をご確認下さい。

就職・資格コーナー

受付カウンター前の棚
⇒ 就職関連図書
図書館に入って左側の棚
⇒ 資格関連図書

もしお探しの図書の場所が分からないときは、受付カウンターへお尋ね下さい。

なぜ「考える人」の姿勢？！



図書館に来るときに、「考える人」の像を目にしたことがある人も多いのではないのでしょうか？
その「考える人」、よく見てみるととても不自然な姿勢なんです！
右手を口元に添えて、左足に肘を寄せ、頬杖をつけています。横から見てみると頬杖のポーズに加え、かなり背を曲げた前傾姿勢である事も分かります。また、後ろから見ると背中中の筋肉が盛り上がり、力を入れて踏ん張っているような様子にも見えます。実際に同じポーズを取ってみるとかなり苦しい姿勢になります。
「考える人」はそんな姿勢で何を「考えて」いるのでしょうか？（セント・地獄篇あらすじ）
図書館に立ち寄ることがあったら是非「考える人」がどのようなことを考えてこのような姿勢になっているのか、じっくり観察してみてください。

「考える人」について
*「考える人」は19世紀を代表するフランスの彫刻家 近代彫刻の父「オーギュスト・ロダンの代表作『地獄の門』の一部で、地獄の門の上で思いを馳している人物。
*『地獄の門』はダンテアリギエリの『神曲』をモチーフに制作された。イタリヤ文学最大の古典と言われ、キリスト教文学の最高峰とされる長編叙事詩。文学、美術、現実の政治等に多大な影響を与えた。時獄篇・煉獄篇・天国篇の3部作で構成されている。
千三百年の春、復活祭の木曜日。闇黒の森に迷い込んだ詩人ダンテは、生き身のまま地獄の門をくぐる。地上での罪により呵責を受ける魂の叫び。ダンテは怖れ慄きながらも言葉を交わし、神が造った人間とは何か、その罪とは何かを探る。

「考える人」の関連本を集めています。一度手に取って、その世界観に浸ってみたいいかがでしょうか？



読書週間マークの由来

ギリシャ神話の世界で「ふくろう」は、学問・技芸・知恵を司る美貌の女神アテナの使者であり、また、代表的なポリスで文化の中心地アテナイ（アテネ）の聖鳥でもありました。

古代のギリシャ人たちは、賢そうな丸い目ですまし顔の「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしたいとします。森の奥深く、静かに瞑想にふけるこの「ふくろう」の姿こそ、読書週間のシンボルマークとしてもっともふさわしいものと考え、読進協では長い間使用してきました。（出典：読書推進運動協議会）

カラー本コーナー

むらさき（紫）色

紫色は情熱の赤、冷静な青と相反する色が混ざった色で、二面性があり複雑で、一言では表現できない色であることから不思議・神秘的なイメージがあります。そのため、紫色には疲労回復や癒し効果がある一方で、感性を刺激したり、個性を感じさせたりする効果もあります。日本では、飛鳥時代にはその名が見られる非常に古い色でもあります。紫色の染料は高価で身分の高い人しか身につけることができなかったこともあり、『高貴』『優美』を意味し、推古天皇が定めた冠位十二階では最も高位の色でした。今回図書館では紫色の本を集めています。紫色の本を読んでその魅力に癒されてみませんか？

平凡な

図書館にある『へえ〜本』 『江戸のハローワーク』

配架場所：2F 開架（請求番号：384.38/Y31）

江戸時代の様々な職業をハローワーク風に紹介した本です。江戸時代の風習や文化とともに多種多様な職業を深掘りしています。ハローワーク風ということで職業内容・賃金・募集条件なども記載されていて、思わず「へえ〜」となってしまう事間違いなし！現代の職業のルーツになっているものも多く、職業別に3〜6ページ程でまとめられているので隙間時間の読書にもおすすめです！



第169回 芥川賞・直木賞発表！

芥川賞大賞 わが手の太陽 石田夏穂
ハンチバック 石川沙央

直木賞大賞 木挽町のあだ討ち/永井沙耶子
他ノミネート作品も芥川賞・直木賞コーナーに集めています。どうぞご利用ください！